

平成22年第2回教育委員会臨時会会議録

1 開会宣言 平成22年2月18日(木) 午後1時30分

2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室

3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長

4 説明のための出席者

古川教育部長、池浦教育総務課長、久住子育て支援課長、金子生涯学習課長、嘉代小中一貫教育推進室長、坂井学校教育課主幹、西山小中一貫教育推進室主幹、尾崎教育総務課主幹、志賀学校教育課統括指導主事、駒形教育総務課長補佐、藤井企画調整担当、阿部教育総務課庶務係長

5 議 題

(1) 議 事

議第1号 平成21年度三条市一般会計補正予算(教育委員会所管分)について

議第2号 平成22年度三条市一般会計予算(教育委員会所管分)について

6 審議の経過及び結果

(1) 議 事

・ 議第1号 平成21年度三条市一般会計補正予算(教育委員会所管分)について

・ 議第2号 平成22年度三条市一般会計予算(教育委員会所管分)について

嘉代小中一貫教育推進室長、坂井学校教育課主幹、池浦教育総務課長、金子生涯学習課長、久住子育て支援課長から一括説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

12ページの安心子ども基金事業のNo.10「学校給食トレーニング事業」とは何か。

(久住子育て支援課長)

学校の給食は、自分でトレーを使ってセルフでもらって、自分のところへ持ってきて食べるので、幼保小の連携の関係もあり、保育所、保育園又は幼稚園に対してもトレーを各施設に配布し、5歳児を中心に給食の準備をしてもらう事業で、食育推進室と子育て支援課で一緒に行う事業である。

(須佐委員)

2ページの(4)奨学金だが、月額45,000円を奨学金で出すのか。

(坂井学校教育課主幹)

今まで月額30,000円としていたのだが、来年は年額54万円というように年額設定をさせてもらう。ただし、支給に関しては年2回払いという形にさせてもらう。

(松永教育長)

今の奨学金のことだが、教育委員会事務局担当と市長、副市長といろいろ話をした中で、2つの問題点があった。

1つは金額がどの程度か。これは3万円を4万円にするか、6万円にするかで幅がある。三条市の財政もさることながら、一体何を基準にして出すのかという話の中で、国公立大学の年間授業料が53万5,800円だ。そうすると、月4万5,000円を出すと年間54万円になるので、国公立大学の年額の授業料相当分を奨学金として支給するとした。

ただし、毎月4万5,000円を支給してもアパート代に消えるのか、本人の生活費の中で食費になって消えるのか、なかなか使い方が分からない。私どもは、国公立大の授業料を前期後期に納められるよう、毎月支給ではなく年2回の支給をしたらどうだろうということである。

(坂爪委員)

3ページのスクールバス運行事業だが、購入の29人乗り4台、60人乗り3台というのは、今までのスクールバスにプラスして新規に入るのか。

(西山小中一貫教育推進室主幹)

今までも下田地区、栄地区においてバスが運行されていたが、それに加えてこのバスを購入することになる。

(松永教育長)

スクールバスは下田も栄もあったが、スクールバスだけでは足りないからというものもあるのだろう。

(西山小中一貫教育推進室主幹)

三条地区においては茜号という30人定員のバスが1台ある。それはスクールバスではなく、一般の校外活動等に運用するバスとなる。また、飯田地区のバスについては、越後交通のバスを運行しているし、栄も同様である。

(松永教育長)

三条市が保有しているスクールバスだけでは、下田地区では足りない。足りない分は、越後交通からバスを借上げる契約をしている。今回は、新規にマイクロバスと大型バスを補充しても足りない冬場だけ、民間のバスを借り上げることになる。

(渡辺委員)

先ほど若干説明があった12ページ(17)の安心子ども基金事業は、国の事業なのか。もう少し分かりやすく説明してほしい。

(久住子育て支援課長)

これは国の事業であり、県を通して市に来る補助事業だ。子育て支援に関するソフト中心の事業に対して補助をするというもので、保育所や児童クラブなどを除く子育て支援に関して広く子どもに関する事業を実施する。これは、継続ではなく単年度事業として支給をされる事業だ。また、今までやっていることを補てんするような事業ではなく、新規に実施する事業に限られる。三条市への割当分と、あと三条市が要望したものを合わせ、新潟県全体の中から7,850万5,000円が県を通じて三条市にいただけるというこ

とでこの事業を行うものだ。

全員異議なく承認と決定

8 閉会宣言 平成22年2月18日 午後2時20分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

平成22年3月26日

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子